

## VI. GX・エネルギー・食料安全保障

### 1. GX・エネルギー

#### (2) 強靱なエネルギー需給構造への転換と脱炭素電源の拡大

#### ③ 洋上風力の導入拡大

浮体式洋上風力についても、排他的経済水域における制度整備を進めるとともに、世界の共通課題である大量生産手法の確立やコスト低減の実現に向け、欧米を中心にグローバルに連携しつつ、浮体式洋上風力技術研究組合(FLOWRA)を通じた国際的な研究開発体制や国際標準の整備を進める。また、国内市場の創出や浮体式案件形成目標等を含む戦略を策定し、部材等の生産・設置・維持管理基盤の整備や、海上施工全体の最適化を図り、国内に強靱なサプライチェーンを構築するとともに、産業を支える人材の育成に向けて、大学や高専等教育研究機関と産業界が連携する体制を構築する。

## X. 個別分野の取組

### 2. 海洋

海洋開発等重点戦略に基づき、自律型無人探査機の研究開発や準天頂衛星システムとの連携を含めた利用実証、海洋状況表示システムの産業利用、衛星データやAI等の活用によるデータ解析手法の高度化等による海洋状況把握及び情報の利活用の推進、南鳥島周辺海域でのレアアース生産に向けた研究開発、管轄海域保全のための地理空間情報及び地形照合システムの整備、北極域研究船の着実な建造と就航後の国際研究プラットフォーム化に向けた検討等について、複数年度を視野に入れた各省庁横断的な予算を十分に確保し、予見可能性を持って強力に進める。

排他的経済水域での海洋観測の高度化、海洋デジタルツインの構築に向けた全球観測の実施やシミュレーション技術の高度化等を行う。

沖縄周辺海域等での海底熱水鉱床、メタンハイドレート、レアアース泥等の国産海洋資源の開発に向け、必要な技術開発、生産プロセス確立、資源量評価、環境影響把握等に取り組む。海洋資源開発への活用も見据え、大深度無人探査機の開発を含めた大深度探査システムの構築を進める。